



# 森まゆみ講演会 地域雑誌26年で考えたこと

2021/7/25(日)

14:00 - 16:00 開場 13:30

塩尻市市民交流センター（えんぱーく）  
3階 多目的ホール

定員 / 60人（先着順） 参加費 / 無料  
申込開始 / 6月20日（日）



## 申し込み

本館総合カウンター、電話(0263-53-3365)、  
メールのいずれか。

メールの場合は次の内容をお送りください。

宛 先 tosho@city.shiojiri.lg.jp

件 名 「7/25 本の寺子屋申込」

本 文 1 参加者全員の氏名(フリガナ)

2 代表者電話番号 3 お住まいの地区

4 この講演会を知ったきっかけ

(広報、チラシなど)

## 森まゆみ（もり・まゆみ）

1954年生まれ。早稲田大学卒業後、出版社を経て、1984年、仲間と地域雑誌『谷中・根津・千駄木』を創刊、聞き書き三昧の30年、記憶を記録に替えてきた。地域を歩き話を聞く中から『鷗外の坂』（中公文庫、芸術選奨文部大臣新人賞）、『彰義隊遺聞』（新潮文庫）、『「青鞥」の冒険』（集英社文庫、紫式部文学賞受賞）などの著書が生まれる。

不忍池地下駐車場反対運動、赤レンガの東京駅保存など、地域の環境、建築物の保存・活用にも携わってきた。著書に『暗い時代の人々』（亜紀書房）、『お隣のイスラーム』（紀伊国屋書店）、『子規の音』（新潮社）、『「五足の靴」をゆく』（平凡社）など。元文化庁文化審議会委員。現在、日本ナショナルトラスト理事。地域で若者を集め、「バーあいそめ」を「さすらいのママ」として不定期に開く。3・11後は東北へ通い、特に石巻市北上川のヨシ原の保全に協力してきた。

